

滋賀県言語聴覚士会

令和6年度事業計画（案）

1. 執行部提案 –全体方針– （担当理事：佐敷会長）

- ・令和6年度総会開催（webによる議決）
- ・令和6年度理事公募（定数内のため選挙は行わず）
- ・県士会組織の整備、調整
事業参加協力会員の確保、地域別集会の推奨、地域包括ケア支援協力体制の強化
- ・日本言語聴覚士協会、近畿府県士会との相互活動協力
- ・会員の研鑽の場の充実として、
生涯学習プログラム、症例検討会の開催の検討、先輩に聞いてみよう
- ・啓発活動（一般向け、士会員向け）
- ・災害リハビリテーション3士会合同研修会（滋賀 JRAT 研修会）
- ・関連他団体との相互活動協力
- ・失語症者意思疎通支援者養成事業、ならびに、派遣事業

昨年度の主な活動は、滋賀県 POS3 団体地域リハ協働事業、地域リハビリテーション活動支援事業、災害リハビリテーション3士会合同研修会（滋賀 JRAT 研修会）、失語症者意思疎通支援者養成事業、派遣事業（新規）、学術行事、理事会の開催と年間に渡り継続する活動が多くありました。

昨年度は失語症者意思疎通支援者養成研修に加え、支援者派遣事業を開始し、失語症サロンへの派遣を複数回実施しました。共に、年間に渡り多くの士会員の協力を得たおかげで、無事に活動することができました。今年度も滋賀県から予算が通りましたので、継続事業として実施いたします。

学術行事は Web 開催を継続することで、滋賀県だけでなく、他府県からの参加もあり、参加者も増え、活発な活動を行うことができました。また、滋賀県初の養成校となる「びわこリハビリテーション専門職大学言語聴覚療法学科」の教授に着任されました種村純先生をお招きして、失語症研修会を実施しました。

元旦に能登半島地震が起こり、県士会、滋賀 JRAT はこの3カ月を慌ただしく過ごしました。被災地は高齢者率の高い地域でしたので、ST 需要が今まで以上にありました。支援に行き「平時から体制を整えておく、顔の見える関係を構築しておく」ことが必要だと強く感じたとともに、他人事ではなく我が事として、滋賀県の ST にもっと平時から災害リハビリテーションに興味・関心を持っていただきたいと思いました。仮に県内で発災したら、県内 ST は総動員されることとなります。そのためには、発災時に ST として何をしなければいけないか、どのような心構えが必要かなどの基本を知っていただく必要があります。ぜひ、皆さんに「災害リハビリテーションとは何か」を知っていただきたいと思います。

協会からの情報としては、昨年同様、①士会協会連携体制構築、②ST 養成課程の指定規則の

改定に向けた臨床指導方法の改定（診療参加型臨床実習・クリニカルクラークシップ（CCS））に伴う実習指導者養成研修について話し合われています。①につきましては、協会 HP でロードマップが示されており、②については、今年度から協会主催で研修会が開催される予定と聞いております。共に、協会から随時アナウンスされますので、ご確認をお願いします。

また、近年、厚労省や県からの委託事業が増えており、それらの事業に費やされる時間が増えていますが、士会活動の質の維持・向上、会員のニーズを把握して対応できるように今年度も進めて参ります。滋賀県における言語聴覚療法の裾野を広げる活動を継続するとともに行政や他団体との連携もさらに強化が図れるように調整して参ります。

昨年もお伝えしましたが、士会の役割は、「STとしての職能を維持するため、職業を守るため」の組織であることを忘れてはいけません。士会なくして ST の職域維持は実現できません。職域を維持し、私たちの直接的な収入源である医療報酬、介護報酬等に対して、厚労省に意見・提言を行うためにも、士会と協会が情報を共有化していく必要に迫られています。これらは個の力ではなく、組織の力が必要です。そのためにも、会員の皆様の協力が不可欠となります。

現在、理事を保健医療圏域ごとに置き、各圏域の状況を把握しやすくなりましたが、まだまだ協力していただける人員が不足しています。特に小児分野、介護保険分野が少ないことが課題です。職域を守るためにも、皆様に士会活動に活発に参加・協力していただきたく願います。各理事から連絡がございましたら、ご協力いただければ幸いです。

また、お近くで士会に入っておられない先生がおられましたら、是非士会に入ってくださいようにお声掛けをお願いいたします。

至らぬ点が多々あるかと存じますが、ご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

2. 事務局提案（担当理事：甲斐副会長）

本年度、事務局として次の事業に取り組んでまいります。

- 1) 令和5年度定期総会開催運営
- 2) 他団体への諸連絡その他の事務処理
- 3) 会員への諸連絡その他の事務処理（入会・退会・登録情報の管理等）

3. 財務部提案（担当理事：阪下理事）

本年度、財務部として次の事業に取り組んでまいります。

- 1) 年会費の出納
- 2) 県士会活動費の出納
- 3) 会計報告

4. 学術部提案（担当理事：田邊理事）

本年度、学術部として次の事業に取り組んでまいります。

1) Web 開催での研修会

基礎講座

7月『5. 職能団体の役割と言語聴覚士の責務（旧：協会の役割と機構）』

12月『2. 臨床実践（基礎）（旧：臨床業務のあり方、進め方）』

先輩に聞いてみよう

8月 嚙下障害分（講師：家守秀知先生）

10月11月 高次脳機能障害分野（講師：調整中）、小児分野（講師：調整中）

2) 症例検討会（日程調整中・症例募集中）

9月 成人分野

1月 小児分野

5. 広報部提案（担当理事：高山理事）

本年度、広報部として次の事業に取り組んでまいります。

- 1) 県士会ホームページの運営・管理
- 2) 広報活動：リレーメッセージ、県士会活動の発信
- 3) 県士会ロゴの作成

6. 保険部提案（担当理事：家守副会長）

本年度、保険部として次の事業に取り組んでまいります。

- 1) 滋賀県 POS 連絡協議会・POS コア会議 参加、県基金の運用・会計
- 2) 全国訪問リハ・地域リーダー会議 参加
- 3) 滋賀県訪問リハビリ振興委員会運営会議・滋賀県訪問リハビリ実務者研修会開催および運営
- 4) 地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業における基礎研修・導入研修の開催および運営

7. リスク管理部提案（担当理事：佐敷会長）

本年度、リスク管理部として次の事業に取り組んでまいります。

活動報告

- 1) 災害リハビリテーションにおける意識調査アンケートの実施、報告
- 2) 災害リハ対策窓口担当（滋賀県 JRAT と連携）
- 3) 滋賀県総合防災訓練への参加
- 4) JRAT 近畿会議への出席
- 5) JIMTEF 災害医療研修受講：1名（予定）
- 6) 各圏域での県士会災害担当窓口の依頼の継続

8. 事業部提案（担当理事：家守副会長）

本年度、事業部として次の事業に取り組んでまいります。

- 1) 滋賀県失語症者向け意思疎通支援者養成講座の運営・開催・会計
- 2) 滋賀県失語症者向け意思疎通支援者派遣事業の運営・派遣調整・会計
- 3) 失語症における県民講座の運営・開催
- 4) 失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修への会員派遣
- 5) 県立リハビリテーションセンターおよび POS 各士会との県民参画事業の運営・開催
- 6) 滋賀県在宅医療セミナーの参加および運営会議の参加
- 7) 滋賀県多職種連携学会の参加および運営会議の参加

以 上

令和6年度予算案

	摘要	令和5年度決算	令和6年度予算案
収入の部			
繰越金		¥1,320,257	¥1,475,620
会費	¥4,000 × 100名 見込み	¥335,815	¥400,000
活動支援金		¥129,530	¥100,000
基礎講座受講料	県外・非会員参加者参加費¥2,000	¥164,000	¥50,000
利子		¥12	¥10
合計		¥1,949,614	¥2,025,630
支出の部			
項目	内容		
事務関連費	事務物品費、郵送代 ホームページ更新料 ZOOM 契約料など	¥32,330	¥90,000
渉外費	後援費用など	¥7,400	¥10,000
教育・研究費	会場使用料、講師代 資料代、茶菓子代	¥113,530	¥100,000
啓発活動費	言語聴覚の日・県民事業 等 イベント雑費	¥10,214	¥30,000
士会活動・旅費交通費	近畿交流会・会長会議費・ 各部会議参加費交通費・ 災害派遣仕様金など	¥227,520	¥250,000
士会運営費	理事会費など 雑務・執筆代	¥83,000	¥112,000
選挙費		¥0	¥0
積立金 (災害・JRAT 派遣用)		¥0	¥20,000
合計		¥473,994	¥612,000

新理事体制

氏名	所属	役職	担当
佐敷俊成	滋賀県立総合病院	会長（継） リスク管理部長（継）	滋賀 JRAT 滋賀県 POS 連絡協議会 滋賀県リハビリテーション協議会 etc
甲斐始	ヴォーリス記念病院	副会長（継） 事務局長（継）	事務局業務 失語症意思疎通支援事業
家守秀知	高島市民病院	副会長（継） 保健部長（継）	滋賀県 POS 連絡協議会 失語症意思疎通支援事業 訪問実務者研修
阪下浩平	近江温泉病院	財務部長（継）	財務全般
田邊信彦	市立長浜病院	学術部長（継）	協会基礎講座 症例検討会 etc
高山圭	京都リハビリテーション病院	広報部長（継）	県・県リハ関連事業
平川圭子	滋賀県立総合病院	理事（継）	滋賀県 POS 連絡協議会
伊井純平	フリー	理事（継）	滋賀県 POS 連絡協議会 失語症意思疎通支援事業
相宗菜摘	滋賀県立小児保健医療センター	理事（継）	小児分野事業
畑孝司	甲西リハビリ病院	理事（継）	災害リハ
塩谷祐子	リエ訪問看護ステーション草津 リエプラッツ草津	理事（継）	滋賀県 POS 連絡協議会 県・県リハ事業 地域リハ関連
長谷川味香	長浜赤十字病院	理事（継）	協会基礎講座 症例検討会 etc
小野奈津子	彦根中央病院	理事（継）	地域リハ関連
岩本徹	びわこリハビリテーション専門 職大学	理事（新）	失語症意思疎通支援事業 学術行事 県・県リハ関係